

ヨーロッパモビリティウィーク & カーフリーデーの取組みについて



ヨーロッパモビリティウィークとは？

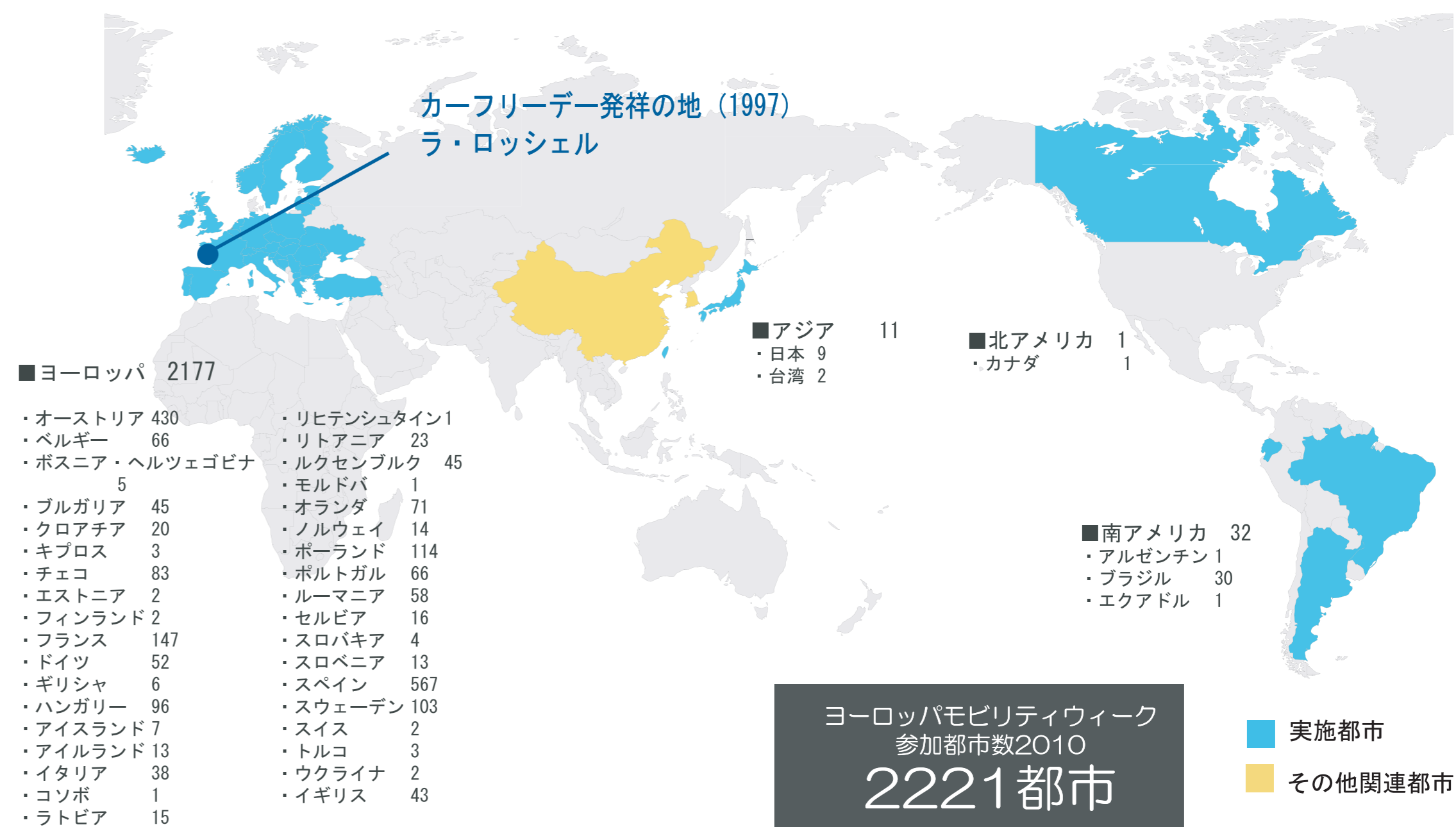
モビリティウィーク&カーフリーデーとは、クルマに過度に依存しない環境や人にやさしいまちづくりを目指して、一週間（9/16-22）、都市交通を考えようという取組みのことで、

この取組みは、クルマ優先社会の問題を見直し、クルマの賢い使い方を考え、交通行動の変化を市民へ促す「社会啓発」と、公共交通の充実を目指し、行政の「新しい交通政策の開始」の機会という役割をもっています。

カーフリーデー（9/22）は、このモビリティウィークの中心的なイベントですが、一日、街の中心部でクルマのない都市空間を創出し、クルマから解放された都市環境の変化を市民一人一人が体験します。その日は、公共交通が無料になったり、バスが増便されたりなど公共交通サービスの充実が同時にはかれ、街ではクルマに頼らなくても日常生活には支障がないことを市民一人一人が実感する機会となっています。

この取組みは、毎年、ヨーロッパを中心に世界2000以上の都市で行なわれています。日本でも、2004年から正式に参加をはじめ、昨年2010年は、全国9都市（仙台市、春日部市、さいたま市、横浜市、逗子市、松本市、福井市、高松市、那覇市）で実施されました。

ヨーロッパモビリティウィークへの参加都市分布図（2010年）



日本の参加都市（2010）



カーフリーデー発祥の地 ラ・ロッシュェル



1997年9月9日、フランスのラ・ロッシュェルで、「車のない日」の社会実験が行われました。ラ・ロッシュェルは、大西洋岸に位置する都市圏人口135,000人の港湾都市で、古くから貿易の拠点、芸術・文化のまちとして栄えています。その一方で、環境の観点から様々な都市交通施策を展開し、15年前から電気自動車の普及にも熱心な環境都市のパイオニアとして広く知られています。

ラ・ロッシュェルにおける社会実験の成功がきっかけで、翌年にはフランスのイベントとして、さらに2000年からはEUのプロジェクトとして毎年9月22日に「街では車を使わない日」が実施されることとなり、2002年からは、モビリティウィークの中心的イベントとして、現在に至っています。

問い合わせ：カーフリーデー・ジャパン
TEL: 03-3234-1765 FAX: 03-3234-1748 E-mail: carfreedayjapan@cfjapan.org

東京都千代田区六番町6-20
グランドメゾン六番町304

カーフリーデー・ジャパンは、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの日本担当窓口で、日本での普及・啓発に努めています。

